

令和4年度第1回矢巾町立学校運営協議会会議録

- 1 日 時 令和4年5月26日（木）午後6時30分～午後7時28分
- 2 場 所 矢巾町役場 4階 大会議室
- 3 出席者 協議会委員 （欠席者）藤村 ゆみ子
- 4 内 容

○ 村松学校教育課長

本日は大変お忙しいところ、第1回目となります矢巾町立学校運営協議会の方にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。本日の次第の1番開会でございますが、4月から学校教育課に参りました村松と申します。どうかよろしく願い申し上げます。若干、まだお見えになってない方がいらっしゃいますけれども、ただいまから、令和4年度第1回の矢巾町立学校運営協議会を開会させていただきます。次第の2番でございます。挨拶、矢巾町教育委員会和田教育長からご挨拶を申し上げます。

○ 和田教育長

改めましてお忙しい中、皆さんに集まっておきまして本当にありがとうございます。この学校運営協議会、新しくメンバーに加わった方々について、少し簡単に説明をさせていただきますと思います。矢巾町のコミュニティスクールは、他地区のコミュニティスクール運営協議会とは若干違っております。これは全国的にも変わった方式をとっています。それは何かというと、矢巾町で一つの学校運営協議会というふうになっているからです。全国で行われているのは、各校に一つのCS学校運営協議会、あるいは中学校区でのCS学校運営協議会という形です。矢巾町のように6校全てを統括して、学校運営協議会、コミュニティスクールとしているところは珍しいと思います。ということで、これは文科省の方にも確認をし、そして、こういうふうな形でやって大丈夫かということも確認させていただいております。そういう中で、なぜこの方式を取ってるかということ、一つは、煙山小学校のように、両方の中学校に子供たちが行っているそういうふうな特別な事情もあります。中学校区でできないということがありました。それよりもまず、矢巾町の子供たちを、矢巾町の人たちがみんなで見守る、それが一番いいんじゃないかということで、これを始めたのが一番の理由です。子供たちは、矢巾を巣立ち、様々な形で学ぶために働くかもしれません。あるいは、この矢巾ですっと過ごすかもしれません。でも、その子供たちを、そういうふうな子供たちを将来どういうふうな生き方をするかということの影響を与えるのは、私達大人なはずで、その大人がみんなで協力し合って、子供たちの未来のためにできることを考えようというのが、この矢巾町のコミュニティスクールです。ただ、残念なことに、コロナのためにですね、やりたいことはたくさんあったんですが、その壁がありました。今学校の方でも様々な工夫をして、このコロナに向かっています。私達、コミュニティスクールについても、このコロナに負けないようにできることを考えながら、子供たちのために何ができるかを、今年度は具体的にしていきたいと、そう思っておりますので、皆さんのお知恵を拝借したいと思います。よろしく願いいたします。

○ 村松学校教育課長

はい。ありがとうございました。続きまして3番の辞令書の交付に移らせていただきます。ページを返していただきまして本日の運営協議会の委員さん方の名簿を掲載してございますけれども、コロナ禍ということもございますので、名簿の一番目である女鹿隆徳様に対応の方をお願い申し上げたいと思います。

○ 教育長

辞令書 女鹿隆徳 矢巾町立学校運営協議会委員をお願いする。任命期間は令和4年4月1日から令和6年3月31日までとする。令和4年4月1日、矢巾町教育委員会。よろしく申し上げます。

○ 村松学校教育課長

はい、皆様もありがとうございました。なおその他の委員皆様の辞令につきましては、それぞれお配りをさせていただきますので、ご了承いただきたいと存じます。続きまして、4に移らせていただきます。委員長および副委員長の選任でございます。矢巾町立学校運営協議会の設置に関する規則第9条第2項の規定に基づきまして、会長および副会長は、運営協議会の委員によるところとなっておりますが、どのような形で進めさせていただいたらよろしいかお諮りしたいと思います。立候補される方とかはいらっしゃいますでしょうか。

【立候補なし】

はい。それでは事務局に一任していただいてもよろしいでしょうか。ありがとうございます。それでは次第をめくったところの裏面の委員名簿でございますが、会長さんには、1番徳田小学校元PTA会長であります女鹿隆徳様をお願いしたいと存じます。副会長につきましては、15番矢巾中学校の元PTA会長であられました瀧恵子様をお願いいたく存じます。皆様の拍手をもってありがとうございました。それでは5番の協議事項につきましては、会長さんの進行をよろしくお願い申し上げます。

○ 女鹿会長

改めまして先ほど会長の方、拝命いたしました女鹿と申します。昨年に引き続きとなりますけれども、何卒皆様のご協力の方よろしく願いいたします。先ほど和田先生もおっしゃられた通りですね、子供たちの将来の生き方に影響を与えるために、今できることを考えていくという視点ですね、今年度また皆さんと一緒に頑張っていきたいと思っております。よろしく願いいたします。早速ですが協議事項の方に入りたいと思っております。協議事項となっておりますが、事務局より資料の説明と本日の進め方の方について説明の方よろしく願いいたします。

○ 高橋学校教育課長補佐

はい皆様改めましてでございます学校教育課高橋と申します。昨年から引き続きどうぞよろしく願いいたします。では座って説明をさせていただきます。失礼します。それでは先ほど会長の方からもお話ありました通り今日の資料の説明で進めかたをご説明させていただきました

と思います。また次第をめぐっていただきまして1ページをご覧いただきたいと思いますが、こちら令和4年度、5年度、2ヶ年の任期ということで、こういったメンバーで2年間、どうぞよろしくお願ひしたいと思ひます。続きまして2ページご覧いただきたいと思ひます。こちら事務局は小学校中学校の校長先生副校長先生となつてごひます。事務局も課長をはじめ、若干メンバー変わつてごひますし、町内小中学校の校長先生、副校長先生もですね、若干変わつてゐるというやうな状況になつてごひます。それであの、事務局の名簿のところによね、備考のところをご覧いただきたいと思ひます。こちら小学校、中学校等各部会という位置づけをしておりましてそちらのよね、担当各職員を配置してごひますので、何なりとお申し付けいただきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。続きまして3ページをご覧いただきたいと思ひますが、こちらですね、今年度の学校運営協議会のスケジュールとなつてごひます。本日第1回の協議会ということで全体会、今回ちょっとこれらの関係もごひまして、若干ちょっと時間短めにしたいです。部会というよりは部会の各状況報告という形で全体が部会ということで開催させていただいておひます。6月から2月の間にそれぞれ部会を開催していただく形となります。こちらの中でそれこそ今年度からご説明していただきますけれども、各学校の取り組みそちらの進捗状況を確認しながら今年度の計画の評価の方を委員の方にしていただき、それらの反省を踏まえまして今度は令和5年度の学校経営の策定ということに対してご意見をいただきながら、最終的に委員の皆様にご承認をいただきそちらの部会の方でいろいろご議論いただくというのを各部会に3回程度開催をする形となります。そしてあと最後3月に先ほど各部会で経営方針を承認させていただいて、あと教育長が申しあげましたけれども、一つやはり一つのコミュニティスクールという考え方で進めてきておひますので、共通の取り組み事項等をこちらの方で検討し、手を挙げたスタートという形にしたというやうな形で今年度進めていきたいなというふうにごひます。続きまして4ページごひます。初めてになられる方もいらっしゃると思ひますが、そこはもう簡単なポンチ絵で示させていただいておひます。コミュニティスクールを通して矢巾町の目指すものと一番行き着くところはですね、ふるさと矢巾を愛し大切に作る人づくりを最終的にはこちらを目指していきましょと。このリスクの中でいろいろご議論いただきながら地域、あとは保護者さんと学校が何か交流しながらですね、みんなでこう作り上げていくというやうな形のイメージごひます。矢巾の児童生徒はですね、どこの学校だから見ますとかどこの学校だからできませんじゃなくて大人が見ると分け隔てなく地域に関わらず面倒を見ましょというやうな、一つ全体の統一した考えで進めていければなというふうにごひます。続きまして5ページご覧いただきたいと思ひます。こちらの令和4年3月に国の方で、コミュニティスクールのあり方検討会というのをごひます。こちらの最終まとめですけど、ちょっと時間もごひませんし、ピンポイントで6ページの方、抜粋して掲載させていただいておひます。県内全国的にあるいは県内でもですね、このコミュニティスクールという仕組みがまだまだ浸透してないやうな状況もごひますが、初めての委員さんにつきましてもコミュニティスクールとはなんぞやというところもごひます。単刀直入に言うとも学校と地域の新たな協働体制の構築を目指して地域住民あるいは保護者、学校が一つとなつて経営をしていきましょと、そういった部分でいろいろとお互ひ責任を持ってですね、学校教育していくというのがまず一つの仕組みだと思ひただければよろしいかなというふうにごひます。中段ですね、これをやることによつてどういったことが成果としてあるんだと、なかなかイメージつきづらいつうんですが、

まずは導入により校長が感じている成果ですが、今までは学校単独で動いていた部分というのは非常に強かったんじゃないかなと思います。こちらを地域と繋がることにより情報を共有する、あるいは地域が学校に行こう協力するとそういった体制が確立されたということもあります。あとはやっぱり地域の人材等を大活用することによってですね、学校独自の特色のある学校作りが可能になったということも成果としてあるのではないかなと思います。あとは学校の先生方いろいろですね、授業等をやっておりますが、やはり地域人材の活用ですね、いろいろな職業の方がいらっしゃいますので、そういう方を活用することによって授業指導の幅が非常に広がる。子供たちにとっても、あるいは先生方にとってもいい経験になりますし、お互いのためになるというような関係性が構築されるのかなと思っております。こういった成果がありますよということで、これから進めてきましょうという趣旨となっております。

今日ではですね、いろいろお話をさせていただきましたけれども一番最後の7ページご覧いただきたいのですが、こちらの実は昨年度の3月に令和4年度の重点取り組み事項を列挙していただいたものでございます。括弧それぞれですね、二つ三つ掲載させていただいておりますし、あと一番下の方ですねこちら非常に重要になってくるんですけども、令和4年度、矢巾町の学校全体で共通な取り組みをしていきたいと思いますということで確認をした内容になってございます。今日は本来であれば今回開いているいろいろディスカッションっていう場を設けたいところではあるんですが、本日以降開催される部会の中でアイスブレイクしながらいろいろご議論いただくということで、部会の方はちょっと割愛をさせていただきますが、まず7ページにあります各校の取り組みの状況、進捗状況等をそれぞれ先生の方からご発表いただいた上で、全体での共有ができるかと思えます。どの取り組みができるかとかですね、そういった共有の場を今日したいと考えておりますので、これ以降、先生方の各部会からのご説明いただければということで、今日は皆さんで情報を共有したいので、どうぞよろしく願いいたします。以上です。

○ 女鹿会長

はい。ありがとうございます。それでは早速でございますけれども、協議事項の5ということで、令和4年度矢巾町学校運営協議会の取り組みについてということですが、今お話あった通りですね、本日の目的は情報共有ということでございますので、令和4年度の重点取り組み項目と共通事項各学校の方も、これから各学校の校長先生から大体5分程度でご説明いただきです。その後、ご質問とかご意見を受けていきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。それではですね、この順番にいききたいと思えます。徳田小学校の方からよろしく願いいたします。座ったままで大丈夫です。

○ 長谷川徳田小学校長

それでは皆さんこんばんは、4月からお世話になっております。校長の長谷川と申しますよろしく願いいたします。座って失礼いたします。徳田小学校は、コミュニティスクールの推進委員会というのがもう既に設立されておまして、4月25日メンバーは17名いるんですが、欠席もありましたが、たくさん集まっておきて、徳田小学校で推進委員会第1回目を行いました。そのときの様子について皆さんにお伝えしたいと思います。まず学校からそのコミュニティスクールの基本的な考えとしては、徳田小学校は地域の学校として、地域の皆さんに協力いただいて、もちろん学校保護者も一緒にこの子供たちをそして子供たちは故郷を

愛し、誇りを持てるように育てるために、どうぞよろしく申し上げますということで、話をしました。現在の徳田小学校の状況とか、課題についてもお話しました。その中で皆さんと話し、主に話があったなというのが、一つ目はこれも学校からのお願いではあったんですが、地域の人の支援をお願いしたいってということで、特に米作りについての話し合いを行いました。昨日一昨日田植えが終わりましたが、その時も地域の方6人に協力いただいて5年生が対応を行いました。話し合いをしたときに、「はせがけのときには、老人クラブにも声をかけてみるから。」というようなお話をいただいて、地域の方たちの協力がたくさん得られるのだからということがありたく思いました。それが一つと、後はPTA会長の方から徳田小学校の大きな課題として、通学の問題があると、朝たくさん車が通って子供たちとても危険だということで、その話から17名の推進員の方たちから、今後、駐車場ができるので、もしかしたらそこに車を停めて降りる方法とか、あとは町の方をお願いをして、朝登校する時間帯、トラックが通らないように話をしているのだとか、そういうことで、話し合い、私達もなかなか地域のことを知ることができないことが多いんですが、推進委員会の中で地域の様子をたくさんお話していただいて、今後、私達学校としてもPTAとしても一緒に次に何をしていけばいいかっていうことが見えてくるような推進委員会を行いました。③にある創立150周年ということについては、来年度は公開ということで、どのように進めていけばいいかということ、まずはPTAと一緒に話し合っていきましょうというところで、現在話し合いはそこまで行っておりました。まずはここまで進んでいますということです。簡単ですが、以上になります。

○ 女鹿会長

はい、ありがとうございます。それでは続きまして煙山小学校さんよろしくお願ひいたします。

○ 阿部煙山小学校長

煙山小学校ですよろしくお願いいたします。煙山小学校は、7ページにあります3つに取り組みます。矢巾町のコミュニティスクールで目指すところでまずは自分で自分を愛することができるよということ。特別活動を確認して、自己肯定感を育成していきます。特別活動を確認するというのはどういうことかということ、聞く子供がいての話し合い、そういったものを通して活動、それから体験活動を通して、高学年がリーダーとして活躍したり、学校もやるし、それから地区でもやるし、家庭でもやる、こういうことをしながら自己肯定感を育てたいということです。そして2番目、ゲーム障害SNS情報メディアに対する家庭教育との開発ということですが、やはりそのためには、生活の基盤は大事です。生活基盤を作るために、家庭、地域と協力しながら、そしてPTAには講演会を催したりしながらみんなでゲームとかから守るそういったことを取り組んでいきたいということです。3番目、関係機関との連携強化ですが、民生委員児童委員や児童クラブ、それから放課後デイサービス、やっぱり子供を取り巻くものは学校だけではありませんので、そういうところと情報交換しながらやっていきたいということです。ちなみに、スクールガードさんは今年度、朝の登校時に全面的に協力依頼しております。教員が今までの登校指導しておりましたが、教員は朝教室で子供たちを迎える、そういう時間を作りたいなと考え、スクールガードさんに朝の登校指導全面協力していただきたいなということをお願いしたところです。そういうふうになら子供が安心して生活できる、そう

いう場所を作っていききたいなというふうに考えております。以上です。

○ 女鹿会長

はい。ありがとうございます。それでは続きまして不動小学校お願いします。

○ 鷹嘴不動小学校長

はい。不動小学校長鷹嘴です。今年からお世話になっておりますよろしくお願いたします。不動小学校の取り組みについて進捗状況についてお話させていただきます。まだ実際には動いてないところですが、今後動いていくと、今後検討していくという部分についてお話させていただきます。一つ目の保護者を対象とした講演会の開催ということについてなんですけれども、実はコロナになってから保護者対象の講演会等開催できないでございました。ですので、今年度は、地区懇談会や事業参加後の懇談会等で保護者に話をする機会を設けていききたいなと考えております。外部講師であったり、あとは本校副校長が情報メディアに関して詳しいものですので、副校長を講師としてお話するというのも考えていききたいなと思っております。また併せて学校報で情報を提供していくということで、周知していききたいなと思っております。二つ目の安全環境の改善対策についてなんですけれども、こちらの方については、スクールガードと連携取りながら見守り活動、現在も続けておりますが、これからも連絡を密に取りながら進めていききたいと思っております。それと併せてPTAの方でも、安全状況の確認を行っておりますので、そちらの方とも連携できればいいかなと思っております。あとは地区懇談会、当然地域の安全状況の聞き取り、子供たちの傾向の様子等を聞き取りしながら、対策を立てていききたいと思っております。ただ、矢巾町共通取り組み事項についてのコーディネーターとかゲストティーチャーという部分に関してなんですけれども、不動小学校では、先ほど徳田小学校さんでもありましたけれども、米作りを行っております。その際に自治公民館長さんにお手伝いいただいたり、地域の方に来ていただいたり、保護者の方に協力いただいたりということで、田植えを行っております。あとは、これもコロナ前の話になるんですけれども、豆腐作りということで、ご協力をいただいていたということですが、コロナでちょっと中断しておりますので、これについても再開できそうかどうか検討していききたいなと思っております。あとちょっとゲストティーチャーとは別になると思いますが、運動会の際に子供たちの応援席のところにテントを張るんですが、各地区からテントを出していただいて、設営から撤収まで、全てやっていただいております。大変助かっております。あとは、共通取り組み事項の2番については、先ほど不動小学校区が一番で話したところと繋がってくるのかなと思っております。以上です。

○ 女鹿会長

はい、ありがとうございます。それでは、次に矢巾東小学校お願いたします。

○ 深野矢巾東小学校長

はい、東小学校です。今年度の取り組み事項は、ほとんど共通取り組み事項と関連させたものとなっております。まず一つ目の地域コーディネーターによる学校の教育活動と地域資と書いてありますが、資源、人物との連携ということです。今日田植えを行いまして、食改善グル

ープの代表の方が、地域の方々を呼んでいただいて、あとJ Aとも協力しながら田植えを行いました。この後、かかし作り、稲刈り、収穫祭、そして、矢巾の特産を使った調理実習ということでご指導を受ける予定です。地域コーディネーターに関しましては、今年でこの田植えはもう19回目で高齢になってきておりますので、それに代わる地域コーディネーターが必要となってきますので、今当たっている最中であります。あと、農業関係で言いますとズッキーニ栽培をしている農家もありますので、3年生がそちらの方の見学に行きたいと言っておりましたので、この後繋げていきたいなと思っております。子供の安全安心な環境作りのための連携協働ということで生活安全はもちろんのこと、交通安全、スクールガードさんに登下校いつもお世話になっております。防災安全に関しましては、災害がいつ起こるかわかりませんので、児童の引き取り訓練ということで保護者の方に来ていただいて確実に引き渡すという訓練、昨年度から実施しておりました。昨年度の課題もありましたので今年度も、もう一度実施してということで、今進めている最中です。情報安全につきましては、ゲームやSNS、携帯電話と同じですので、こちらについても昨年度、呼びできなかったのが、今年度は保護者の参加も広く募りたいなと思っております。今のところは以上です。

○ 女鹿会長

はい。ありがとうございます。それでは矢巾中学校さんよろしく願いいたします。

○ 吉岡矢巾中学校校長

はい、矢巾中学校でございます。よろしく願いします。これからお話するのは、まだ協議会、部会を開催しておりませんで、一緒にお話、ご意見を伺いながら、家庭や地域と一緒に取り組んでいきたいなというふうに考えていることをお話したいと思います。まず1番の地域・家庭と連携協働して自己肯定感の育成を行うということについてです。最初の方にありました自分を、人を、そしてふるさと矢巾を愛しということにも繋がります。まずは自分の自己肯定感、それから有用感というのを育てたいというふうに思っています。そのためにも一人一人の活躍の場を作っていきたい。ただそれを目指すこととか、そういうことではなくて、本当に地道な毎日の取り組みが大切だということを確認していききたいと思います。コロナ禍の中でいろんなことが中止になったり、制限を受けてきました。でも、その中で何とか活動をするために多くの工夫が生まれてきました。更にいろんなことができなくなったからこそ、一つ一つのことが大切だということを確認できましたし、こういう形も一緒に共有していききたいというふうに思っております。2番の家庭教育とタイアップして傾聴、共感的受容をベースにした教育活動の充実というふうに書いていますが、傾聴は本当にどういうことなのかということと一緒に地域と考えていきたいと思っております。まずは、そういうことについて情報発信を学校からして、子どもと対話できるようにちょっと話を聞いていけるような教育活動を作っていきたいと思っております。③についてです、ICTについてはまずは使ってみる、そしてゆくゆくは生徒が自分の意思で主体的に使えるようにしたいと思っております。情報モラルについてです、これについては、学校はまず実態調査をやりたいと思っております。沢山心配されることもありますので、子供たちとも一緒に考えていく機会を作っていければと思っております。

○ 女鹿会長

はい。ありがとうございます。それでは最後に矢巾北中学校さんよろしく願いいたします。

○ 伊藤矢巾北中学校長

伊藤です。よろしくお願いいたします。昨年の本会議の中で部会として行われた中で、本校の喫緊の課題として二つ挙げられました。一つは交通量などの増加に伴い、交通安全の確保です。これについては昨年度、PTAの活動や近隣の小学校とも連携しながら、北中学校区内のデジタル安全マップ作成ということで一つ形にして対応できていました。もう一つ課題に挙げられたのが共通課題も出ている情報モラルについてです。現在本校生徒の中にも、ネットゲーム依存が散見しております。本年度入学してきた生徒の中にも、やはりそういった生徒が見られるものですから、やはりこれは早急に対応しなければならないという状況です。昨年度も生徒対象の講演会をオンラインではありましたが保護者にもご案内を申し上げました。ただ残念ながら参加される方がほとんどいっしょらなくて、もう少し保護者への注意喚起をしなければならないということを感じていました。以下の対策を行うことにします。一つ目はですね、全校生徒対象にしてスマホ依存とかゲーム障害の程度がどの程度あるものなのかを、スクリーニングテストという形で調査を行います。今1人1台のタブレットもありますので、それを使ってアンケート形式で答えていくと。でも、依存度が数値化されるというものがありますので、それを使ってまずやらせていただきます。その結果をもとにして子どもたちの状況を保護者に伝えるために、三者面談のときにその結果を提示すると、それをもとにこちらの方で準備して、スマホ依存ゲーム依存の怖さについての動画を親子で一緒に視聴してもらおう、ということをやりたいと思っています。その動画作成に関わっては本校にも関わってもらっておりますせいわ病院の鈴木先生、ゲーム依存にかなり詳しい先生ですので、その方にその動画作成を依頼したならば、快く引き受けていただけましたので、それを使って、親子揃ってまず自分の使い方や怖さについて確認してもらおう。その後の家庭に戻ったときに今後どのように使っていくかということをもっと相談してもらおうということを進めたいと思っています。もう一つ、学校の枠を超えた部活動のあり方ということですが、方向性とかかなり減ってきておまして、部活動運営にも支障をきたしている状況です。学校の中だけの指導では苦しい状態になっていますので、何とか学校外の資源を活用した部活動ができないか、ということをお考えしております。今いろんなスイミングであるとか体操であるとか、そういった部分については、学校外で活動している子どもたちがいまして、そちらの方の活動をすることもOKとしてきました。ですので、今回は剣道に専念したいってお子さんがいましたので、そちらの方に部活動の代わりに行ってもらうと。いろんなシステムを今作っております。もう少し種類多くしてバスケットであるとかそういった部分についても学校外の指導にお願いできないかということをお考えしております。以上です。

○ 女鹿会長

はい、ありがとうございます。ただいま、全ての学校から取り組みについて発表をしていただきました。今までの内容で、皆様の方からですね、ご意見とかご質問何かございませんでしょうか。今日これがメインとなりますけれども、これ見た中でですね、何かこの学校にこういうことを聞いていきたいとか、ざっくばらんに何でもよろしいですけれども、いかがでしょうか。

か。はい、じゃあ先生お願いします。

○ 佐々木三夫委員

佐々木と申します。3点ほどの質問となりますから、お願いしたいと思います。1点目は、ここ2年間はなかなか学校の教育活動、参加する機会が制限されてくるだけでしたけれども、やむを得ないなと思っております。今後は少し配慮してもらって、運営協議会の委員とか、何らかの形で分散した形でもいいので、人数制限してもいいので、学校に行く機会が少しでも増えればありがたいなということがまず一つ可能かどうか、あと二つ目は、先ほどから出ているその地域コーディネーターについて、まず学校さんのところでコーディネーターが決まっています、その方を通して地域の人材を見つけて、過去の様々な活動を生かしているというお話をお聞きしましたので、大変いいなと思いました。それで、まず小学校区なり、あるいは各学校もっとあるいは二つの学校区、あるいはその中学校区にわたるコーディネーターとか何かそこら辺のそこのところの見通しなりがあるかどうか、ちょっとお聞きしたいなと思っております。それが2点目です。最後、教育振興などとの連携ということで、結局役場の方の学校教育課はコミュニティスクールを担当しますし、文化スポーツ課は教育振興運動、それから企画財政課は公民館長の協議会等となっております、同じ大きな目標のところ、到達するところは同じだと思うんですけどもそこら辺の所管する役割分担ありますか。そこら辺のところを少しすっきりさせていただければいいのかなと思っていますけど、いかがお考えかをお願いしたいと思います。以上です。

○ 女鹿会長

はいありがとうございます。ただいま3点ご質問いただきました。こちら事務局からもよろしいですかね、まず1点目についてですね、学校の参観というところからよろしく願いいたします。

○ 和田教育長

はい。本当にありがとうございます。まさしく課題としているところをですね、佐々木さんに指摘をされました学校参観については、これはコロナの状況を見ながらということと、それから人数制限だとかいろんなことを考えながら、ぜひ今年度は行きたいなと思っております。これは改めてご連絡を差し上げたいと思いますし、学校の方とも協議をしながらということで、よろしく願いしたいと思います。2学期とかですね、ちょっとその辺のところは状況を見させていただきたいと思います。それから地域コーディネーターについてですけれども、これもまた課題です。あのいい人材がいればということもありますし、まず今その人を雇うことよりもまずできることはやろうということでやっています。そしてこれが、どんどんやるのが多くなったときにそれをコーディネートする人が絶対に必要になると、そうすると、学校教育課では当然それはできないということになりますし、それを各学校からどうのこうのっていうそこから作ることもできないだろうと。そういったときに、どういう人に頼むのがいいかっていうことで、ある程度こういう人をつていうことは、私なりには考えています。あとは、これをどういうふうに予算計上したいかっていうのは、ちょっと考えさせてください。それから、教育振興運動ということで、私は前から話をしてますけれども、教育振興運動があるからその上

にコミュニティスクールができていくというふうに考えています。ただあの、先ほどあったように、文化スポーツ課の方が教育振興、それからいわゆる自治会関係が企画財政課というふうなことで、三つの間にわたってその同じ子供たちとか地域を考えるっていうのが分散されているということ、これも課題だと思います。これは矢巾町役場の中でのこの連携だと思っておりますので、これについてもこれから考えてまいりたいとそう思っております。本当にありがとうございます。

○ 女鹿会長

はい、ありがとうございます。よろしいでしょうか。

○ 佐々木三夫委員

はい、ありがとうございます。

○ 女鹿会長

はい、それでは他に何かご意見等ございませんでしょうか。はい、よろしく願います。

○ 長沼浩委員

はい、矢巾北中PTA会長の長沼といいます。基本的な質問になるかと思うんですが、現在のスクールガードの現状というものを教えていただいてご理解を深めたいと思います。よろしく願います。

○ 女鹿会長

はい、ありがとうございます。いかがでしょうか、スクールガードさんの実態、人数とか今ここで答えられる部分っていうのは何かあれば。はい、ありがとうございます。

○ 和田教育長

スクールガードについては、小学校の方で取り組んでいることというお願いをしていることなので、具体的な数字についてはここでは私の方でもわかりません。ただあの、いろんな課題がございます。人材不足、なかなか手が届かない高齢の方をお願いして、その事項とか、いろんな様々なことがあります。保険は入っていただいておりますけれども、でもやっぱり子供たちに何かあったときに自分が責任を取れるのかというふうなことで心配をされている方もいらっしゃると思います。そういったことで、ちょっと腰が引けてしまうとかですね。なかなかできないよっていう声が、地域の方からあがってきております。これについてもですね、様々な事例が他地区でもございますので、そういったものを参考にしながら取り入れていけるところは取り入れたいと思いますし、子供会の方の協力ももらうとか、あるいは何か違った形を取るとかですね、それぞれの地区にあったものあるいは矢巾町にあったものと考えてまいりたいと思っております。ありがとうございました。

○ 女鹿会長

はい、ありがとうございます。はい。他にはいかがでしょうか。どうでしょう、もう少しお

時間もありませんけれども、はいそうですね、皆様結局は今までもこの発表の中で見られましたところ米作りだったりですね、ズッキーニとか、あとはいろんな話が話ありました。スクールガードさんの統合指導とかいう話も非常にいいなと思ってきました。あとデジタルマップを作ったりとかですね、いろんな学校でそれぞれ今までも取り組んできているっていうところでありましてここをどんどん掘り下げていけばですね、何かしらまたこういうことをやっていきたいというところがまた見えてくるだろうなと思います。例で申し上げますと、私は小学校ですけども、コミュニティ推進委員会でまず米作りの話を出したんですけども、私もずっと徳田で育ちまして小学校の頃からやりましたけども、やっぱり教えてくださる方から子供たちは事前に学習してきてほしいなと、もっと米のことをしてきてほしいなとかいうお話が出たりですね、小学校でやるという親もそうですけど稲刈りも機械が当たり前なんですけども、機械を見せてみたいとか、そういうお話も確かにお話聞けばその通りだなというところもあるので、そういうのを教える時間は学校の方で確保できるのかとかですね、そういうところをこれからディスカッションしなきゃなっているところも考えました。1年間長いので秋に向けてですね、いろいろやる楽しみはあるなと校長先生とお話しながらですね、それは感じている次第です。そういう感じですね、今までやってることを分析してみると、もっともっとう、細かくいろんなコミュニケーションとれるんじゃないかな、地域の方というのを感じておりました。あとですねゲームとかSNS情報共有のところがモラルのところがななんですけど、ここはですね各学校とも同じ悩みだろうなと。また中学校に上がるにしたがってもありますね、小学校の方にも何かお願いしなきゃいけないこといろんなこと見えてくるとこだと思います。ここはですね、できれば町全体でというか、皆さん共通意識を持って取り組んでいければよろしいのかなと思うのでこのところを事務局にお願いできればといったところだと思います。その他ですね、各学校のいいところを真似しながらですね、1年後どうやってるんだらうっていう話もざっくばらんに聞いていただきながらですね進めていけばと思います。結構面白い活動はもちろん先ほど佐々木先生からお話あって、コロナ次第というところではあるんですけども、やっていけるんじゃないかなってというのが、今日皆さんのお話を聞いた印象でした。はい。私から以上ですけど他に皆さんから、よろしかったでしょうか。それでは今日はそういう形でまとめさせていただきますと思います。

○ 和田教育長

よろしくお願いたします。今、女鹿会長の方から、まとめということでしたいただきましたが、その中で全学校共通取り組みということで二つ挙げていましたけれども、今説明がありましたゲストティーチャー、いわゆる人材バンク、それからいわゆるゲームや性別・情報モラルについて、この二つが大きな課題です。これについては、一番最初にお話ししましたけれども、ぜひ今年度形を作りたいと、そう思います。例えば、子供たちの見守りができるよとか、あるいは整備関係、校庭の整備とか、校舎の何か簡単な修理ができるよとか、そういうことはできないけれども、例えば他の子供たちのその勉強を見てあげる側のプリント上と採点をしてあげるとか、あるいはちょっと教えてあげるとか、そういったことはできるよとか、そういうふうなその具体的なカテゴリーを作ってですね、そこに登録してもらって、そして協力してもらおうとか、そういったことができればなと私も考えておりました。それから情報モラルについては先ほど会長からもお話があった通り、町全体として、どこの学校でも困っています。でも、

どうして困ってるかっていうと子供のためにならないからです。携帯電話、確かに子供たちは持っています。持たせてるのは申し訳ないですけど、保護者の方です。でも、保護者の方が、もうその子供に買い与えたものをどうすることもできなくなっているから、問題が起きてます。子供の方が学習能力が高いです。いろんなことを覚えます。そしていろんな人と繋がります。繋がっていくとどンドンどンドンいろんなことを覚えていき、そうすると、何のために子供に買い与えたのか。子供の安全のためって言ってますけれども、その安全のために買い与えたものが子供を安全ではないところに持ってってしまっています。悪の方に、引き込まれてしまう。いろんな犯罪に巻き込まれる子供の、その大半が携帯電話を返しています。子供たちのトラブルは、ゲーム機です。親が知らないところでゲームやってるから、自分でやってるんだろうと。友達と繋がっています。友達の悪口を言い合ってます。それが学校に来て問題になります。学校に行きたくなくなります。学校に行かないで何をしてるかってゲームします。他の子と繋がります。そうすると、そっちの方が楽しそうだなと言って、誘われたところに行ってしまう。その相手が子供ではなく大人だったりします。様々な問題が、この携帯電話ゲーム機によって、起きています。その実態をぜひわかってほしいということで講演会を開いても、なかなか集まっただけじゃありません。それが一番の問題です。でも逆に言うと、そういうふうなこと、大事なことから、何か手はないかと。講演会を開きます講師さんがいますと言っても集まらないのであれば、そういうのを見てくれる聞いてくれるような、こちらの手段を向こうの方が見られる考える、そういったツールを返して、YouTube でこちらの方から LINE で様々な形で危ない状況ですよっていうことを伝えられないか、そういったことも含めてちょっと考えていきたいと思います。皆さんのアイデアも、ぜひその各部会を出していただいて、そして今年度形に少しでもしていきたいと思います。子供たちのためによろしく願います。

○ 女鹿会長

はい、ありがとうございます。今は先生からお話あった通りですね、いかにいろんな人たちにお話を聞いていただけるかっていうことは、多分この中にも今までPTA会長さんやられた方非常に苦労されたと思います。懇談会でも年々人が減る一方、講演会やっても全く人が来ないって言ったところでですね、やはりそれ今おっしゃった通りすごく共通の問題だと思いますので、いかにしてたくさんの方を計上していただけるかということですね、そうしたおりに今年1年かけて考えていければと思いますので皆様よろしくお願い致します。はい。それではお時間も大体1時間経ちましたので、以上をもちまして、協議の方を終了させていただきたいと思います。皆様、ご協力の方、大変ありがとうございました。

○ 村松学校教育課長

はい。会長様の円滑なご進講そして最後の総括までに含めまして、誠にありがとうございました。次第の6番、その他でございますが、事務局の方から特にお知らせ等はございません。皆様から何かお伝えしたいこととかはございませんでしょうか。

【特になし】

よろしいですか。はい、ありがとうございました。本日は大変お忙しいところ、短い時間帯

ではございましたけれども、貴重なご意見ご提言もありました。ありがとうございました。以上をもちまして令和4年度第1回矢巾町立学校運営協議会を閉会させていただきます。

【午前19時28分 閉会】